

会 議 録

会議名 (協議会等名)		星が丘公民館運営協議会		
事務局 (担当課)		星が丘公民館 電話 042-755-0600 (直通)		
開催日時		令和4年6月2日(木) 19時00分～20時20分		
開催場所		星が丘公民館 1階 大会議室		
出席者	委員	21人(別紙のとおり)		
	その他	3人(星が丘公民館専門委員会委員長:学習文化、体育、青少年)		
	事務局	7人(館長代理、公民館職員 4人、専門部委員 3人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		○委嘱式 ○会長あいさつ ○議 題 1 令和3年度公民館事業について (1) 令和3年度星が丘公民館運営協議会活動費補助金決算報告について 2 令和4年度公民館事業について (1) 町民運動会について (2) 学社連携事業について (3) 自主企画提案事業について (4) (仮称)星が丘公民館サンクスイベントについて 3 公民館改修関連について 4 各専門委員会からの報告 5 情報交換 6 その他 (1) 星が丘地区非公認キャラクター「ほしおか ほっしい」について		

協 議 の 要 旨

(○は委員の発言、□は専門部委員長の発言、●は事務局等の発言)

・委嘱式

後藤会長より委嘱替え4人の委員に対して委嘱状を交付した。

・開会あいさつ

後藤会長からあいさつがあった。

・自己紹介

事務局の自己紹介を行った。

(以降議長が議事を進行)

・議 題

1 令和3年度公民館事業について

(1) 令和3年度星が丘公民館運営協議会活動費補助金決算報告について

資料1に基づき、令和3年度会計の竹内(眞)委員より決算内容を報告。会計監査の小野委員により監査の結果、相違ない旨、報告があった。

委員からの意見等なし。

2 令和4年度公民館事業について

(1) 町民運動会について

事務局より資料2の「公民館事業の実施の考え方について」を踏まえ、今年度の町民運動会は中止とする旨の説明を行った。

○その趣旨からすると、ファミリーバドミントン大会などもダメになってしまうのではないのか。

□町民運動会は、不特定多数の方が参加されるため、何かあったときにその先がつかめないことから市の方針を踏まえ中止と判断したが、ファミリーバドミントン大会などは、申込制となっており、参加者を把握することができる。5月にはソフトボール大会も行った。町民運動会は中止となったが、スポーツ事業は積極的に行っていきたい。

(2) 学社連携事業について

事務局より近隣の小中学校や市内の高校、大学と連携した事業を行っていく予定である旨、説明を行った。

○地区自治会連合会では、10月に予定している「星が丘フェスティバル」で上溝中学校に吹奏楽の出演をお願いしたところ、出演してもらえることになった。

○上溝中学校に依頼する場合、楽器などを運ぶための予算はあるのか。

○出ていただく学校が負担することのないよう、地区自治会連合会で予算を計上している。

(3) 自主企画提案事業について

事務局より資料3に基づき説明を行った。

○自主企画提案事業を開設するにあたって、助成金などは出されるのか。

●事業実施が審査会で認められた場合は、自主企画をされる方への講師謝礼は公民館(市)が支出する。またチラシ等での参加者募集や申込の受付などは公民館が行う。

ただし、事業予算には上限があるため、説明会でそのことについても説明する。

○他公民館では材料費が数千円かかる講座もあると聞いている。公民館での講座では高額の方だと思うが、事業にかかる経費の価値観は人それぞれ違う。その部分をどのように判断するのか教えてほしい。

●自主企画提案事業で実施するために必要な材料費は、従来と同様に参加者の方に負担してもらおう。実施する内容により使用する材料が異なることから、材料費の金額面での判断基準はない。

今回の趣旨は、これまで地域の方や利用サークルが自身で習得した知識や技術を地域に還元してもらおうことが趣旨である。そのため自主企画を持ち込んだ方が基本的には講師になり、地域の方を募集して講座を開くため、公民館はその講師に対し、講師謝礼をお支払いする流れになる。

○そうなると、公民館のカルチャーセンターのようなイメージか。

●カルチャーセンターとサークルとの線引きは難しいが、一つの考え方として、先生が会費のすべて集めるのがカルチャーセンターであるのに対し、サークルは先生以外の代表者や会計などの役員がいて、会員が会費を集め、会費の一部をお礼として先生に渡すことがサークルだと思う。

今回の自主企画では、公民館が講師謝礼をお支払いするが、その後はサークルとして活動していただくことになる。

□講座は連続で2回以上とされているので、1回の講座ではだめということをしっかり説明してほしい。例えば、コンサートを1回やりたいという企画ではだめで、みんなと音楽(楽器の習得やコーラス練習などの)講習を2回以上やるなら大丈夫ということでのよいのか。

●将来的には、この講座をきっかけにサークルにさせていただくところが趣旨であり、コンサートをするので見に来てくださいというのは自主企画ではない。コーラスの講座を2回、3回やっていただき、よかったので会員になりたいという方に新規に会員となつていただくようなものももとの趣旨である。このため、単発のイベントはこの企画の対象外となる。

□そのあたりをきちんと提示したほうがよい。また、謝礼などの支援に上限を設けているとのことだが、何組ぐらい講座ができるのか。

●実施回数に関係なく、1講座2万円が上限となっており、別途、材料費については参加者から徴収いただくことになる。今年度の星が丘公民館の予算は6万円である。

●審査委員会の設置にあたっては、座長が公民館長となる。また、当運営協議会の委員から3名を座長が指名することになっているので、よろしく願いたい。

なお、どなたを指名するかは座長に一任とさせていただきます。

(委員)異議なし

(4) (仮称)星が丘公民館サンクスイベントについて

事務局より資料4に基づき説明を行った。

○ステージの分野で、時期を2回にずらして実施する理由は、収容や時間的に1回でできないからか。

●多くの方に来ていただきたい部分と場所の制約もあるので、分野ごとに小規模に時期をずらして、ミニ公民館まつりのようなものを実施して、最終的に3月の公民館まつりへの盛り上がりや改修に対する意識の醸成の部分も含めて、少しずつ実施していきたいと考えている。

○期間は3か月と長いが。

●イベントとしては3か月間だが、ステージは9月か10月の1回、コンサートは11月下旬の1回であり、その間、展示をロビーや階段壁面にさせていただく形になる。

○現在もロビーに利用していないパネルが3枚あるが、なぜ利用しないのか。

●6月に開催した利用者協議会の総会の中で、展示スペースを提供するので展示してほしい旨を呼びかけたが、残念ながら希望するサークル等がない状況である。

○サンクスイベントについては、公民館に支えられ、また公民館を支えてきた利用団体が練習や趣味のように部屋にこもってやっているだけではなく、ぜひ発表の場として施設を利用し、長く利用した公民館での成果を少しでも多くの人に知っていただき、新しく出来る公民館の活動につなげてほしい。

利用者協議会もこの提案に協賛させてもらったので、ご理解をいただき、多くの皆さんにご参加いただきたい。

3 公民館改修関連について

事務局より資料5に基づき説明を行った。

委員からの意見等なし。

4 各専門委員会からの報告

各専門委員会から年間事業予定について説明を行った。

○体育委員会に確認したい。昨年度はグラウンドゴルフがあったが、今年度から実施しなくなったのか。

□昨年度はコロナの関係で公民館としては中止としたが、地域の方々が独自に実施している状況である。

今後、体育委員会としては、市の方針に基づきポッチャやバウンスポールなどのニュースポーツを広めていきたいと考えているため、グラウンドゴルフは公民館主催では実施しない。

○学習文化委員会に確認したい。一人でも二人でもよいので、地域の様々な活動の担い手につながっていくような事業はできないものか。

□いただいたご意見のように、次につながる事業を展開していきたいが、実際にはなかなか実現できておら

ず、難しい状況である。

学習文化委員会をはじめ、公民館の主催事業への参加が、若者や男性などを公民館や地域に呼び込む第一歩だと思っているので、その視点も忘れずに、引き続き継続して事業の実施に取り組んでいきたい。

○高齢者学級については、元気で自分の足で来られる人が対象であるが、その背後にいる自力では来られない人に対する事業展開がない。将来的にどう考えているのか。

●原則、高齢者学級に参加する方は全回出席できることが条件となっている。実際に公民館に足を運ぶことが困難な方を対象に例えば動画配信などの活用も考えられるが、高齢者の方がこれらを扱うのが厳しく、なかなか公民館としてもアプローチするのが難しい。アプローチの方法や取組している事例などの情報があつたら提供していただきたい。

○超高齢化時代であり、自分の足では来られない高齢者が背後にいるのだから、間接的なサポーターを育てていくなど、検討する時期に入ったのではないかと。ぜひ検討してほしい。

○コロナ禍で2年間事業が中止になった影響で、今まで公民館に来てくれた方も来づらくなっている。来られない方ばかりになってしまうのも問題であるため、元気で来られる方を少しでも増やしたいと思っている。

オレンジカフェというサークルがあり、ひとりでは来られない方を、付き添う方が連れてきてもらうことをしている。限られたメンバーでひと月に1回行っているが、今後様子を見ながら拡大し、そういった方たちも公民館に来れるようにしていきたい。

●高齢者に対するアプローチの課題のほかに、若い世代についてもどのようにしたら学級や講座に参加していただけるか、公民館を利用していただけるのかなどについても、委員の皆さんから意見を伺いたい。

5 情報交換

○学務課からの依頼により、現在、登校時の二つの交差点で2名の学童通学安全指導委員に毎日立っていただいているが、長期間担っていただいた方が引退するため、後任を探している。やっていただける方がいたら副校長まで連絡をお願いしたい。

○星が丘子どもセンターのホームページでは、開館が10時と掲載されているが、今年度から9時になっている。

○8月8日(月)9時30分～12時に、「星が丘チリリンスクール」を星が丘公民館と星が丘小学校の校庭を使って行う予定である。

○自治会では、6月25日に夜間防災訓練を実施する。開会式は午後6時でドローンを飛ばす予定である。

6 その他

(1) 星が丘地区非公認キャラクター「ほしおか ほっしい」について

学習文化委員長よりイラストのダウンロード方法及び利用について説明を行った。

以 上

第1回星が丘公民館運営協議会委員出欠席名簿

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	後藤 陽子	星が丘公民館長	会長	出席
2	西山 美香	星が丘小学校長		出席
3	荒井 功	星が丘こどもセンター館長		出席
4	竹田 幹夫	星が丘地区自治会連合会長	議長	出席
5	近藤 大助	星が丘地区自治会連合会 副会長		出席
6	金ヶ江 實	星が丘地区自治会連合会 会計・事務局長		出席
7	坂本 洋三	星が丘地区社会福祉協議会長		出席
8	杉崎 繁和	星が丘老人クラブ連合会 副会長		出席
9	佐藤 亮子	星が丘地区子ども会育成連絡協議会		出席
10	松島 弘行	星が丘公民館区青少年健全育成協議会 副会長		欠席
11	岡本 浩三	星が丘小学校 PTA 会長		欠席
12	八木 鉄雄	星が丘地区民生委員児童委員協議会長		出席
13	五十嵐富士夫	交通安全協会千代田支部 支部長		出席
14	奈良 志津江	星が丘地区交通安全母の会 副会長		出席
15	山田 隆	星が丘地区消防団後援会 副会長		出席
16	白鳥 薫	スポーツ推進委員		欠席
17	高畑 由美子	青少年指導委員		出席
18	長塚 勇一郎	星が丘地区健康づくり普及員協議会		出席
19	門倉 節朗	星が丘公民館利用者協議会 会長		出席
20	大久保 美恵子	星が丘公民館利用者協議会 副会長		出席
21	竹内 真理	公募委員	会計	出席
22	小野 洋子	公募委員	会計監査	出席
23	小林 善子	公募委員		出席
24	後藤 克正	学識経験者		出席
25	宮本 弘文	学識経験者	副議長	欠席